

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

非トルエン・キシレン塗料

(一社)日本塗料工業会 室内環境対策の自主表示  
ガイドライン「非トルエン・キシレン塗料」に適合

JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント

JIS A 6909 可とう形改修塗材E 適応上塗材

水性反応硬化形つや有アクリル樹脂塗料

# アレスアクアグロス

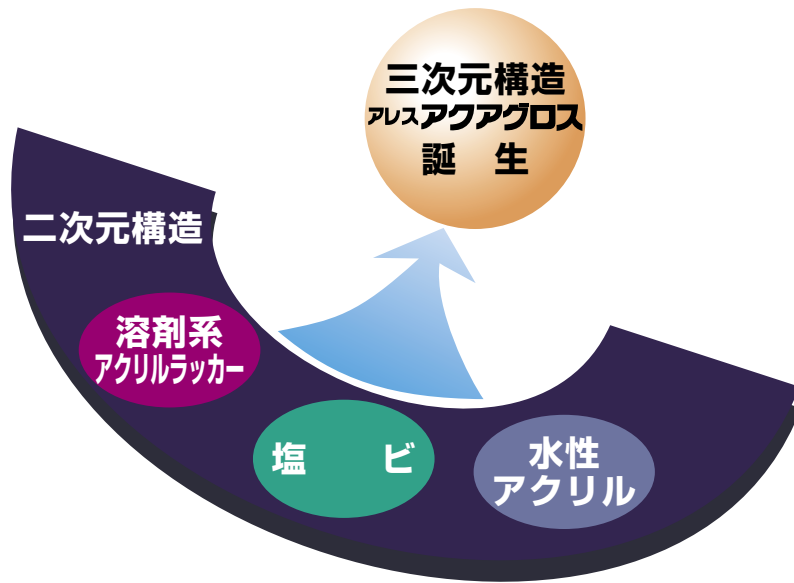
アクリルは

溶剤系から

水性から

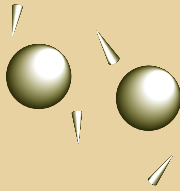
水性反応硬化形へ

# 二次元構造から三次元構造へ

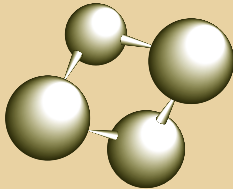


水性反応硬化アクリル樹脂の開発成功により  
アクリル樹脂塗料が大きく進化しました。

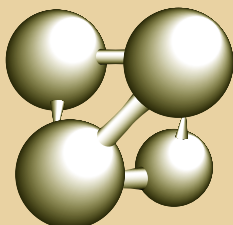
**1** 塗料の状態を保ったまま水性化アクリル樹脂と反応剤が均一に混じり合い、しかも液体として安定。



**2** 水の蒸発によって反応硬化が始まり、水性化アクリル樹脂が相互に結合。



**3** 水性化アクリル樹脂の粒子間の反応硬化により、強力な三次元構造塗膜が完成。



## アレスアクアグロスとは

**1** 超高分子水性反応硬化アクリル樹脂ですから三次元反応します。

水性でありながら、反応硬化アクリル樹脂によって得られた塗膜は、同種の溶剤系アクリル塗料に比べ

- 耐水性・耐久性・耐薬品性に優れています。
- 光沢保持力、肉持ち感に優れています。
- 耐酸性雨性に優れています。
- 仕上がり感が優れています。

**2** タック性が少なく、強い塗膜が得られます。

水性特有のタック性が少なく、手触りの良い、硬い塗膜です。

**3** 速乾加速反応します。

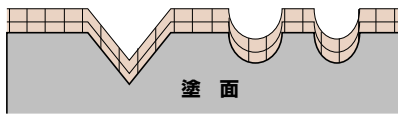
反応速度が早いのでシマリが早く、初期降雨性も優れ、作業能率も向上させます。又、塗装時に発泡しにくいのも特長です。

**4** 微臭で非危険物です。

水で希釈や塗装具の洗浄ができるので経済的です。

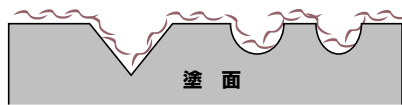
## アレス アクアグロス

水性反応硬化アクリル樹脂ですから、三次元構造のタフな肉持ちのある塗膜で、下地への吸い込みも少なくグラマラスな仕上がりになります。



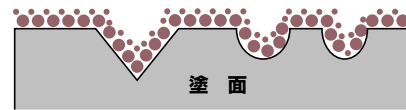
## 溶剤形アクリル

ラッカー形の二次元構造で低分子塗膜です。溶解力の強いシンナーで希釈するので、吸い込みが多くなります。



## 従来水性塗料

エマルション粒子が溶け合って塗膜をつくる融着造膜タイプです。タック性が残るケースがあり、水性としての限界があります。



水性反応硬化アクリル樹脂を使用しています。

水性でありながら反応硬化樹脂によって得られた塗膜は、同種の溶剤形塗料よりも耐水性・耐久性・耐薬品性に優れており、画期的な塗料です。

**三次元構造塗膜なので高性能です。**

同種の溶剤形塗料(二次元構造塗膜)に比べ、塗膜の信頼性が高く、光沢保持性にも優れています。

**速乾で加速反応します。**

反応速度が速いのでシマリが速くなり、初期耐降雨性にも優れています。また塗装時に発泡しにくいのも特長です。

**タック性が少なく、硬い真珠のような手触りの塗膜です。**

水性特有のタック性が少なく、手ざわりの良いハイタッチな塗膜です。

### アレスアクアグロス白〔試験成績表〕〔JIS K 5660つや有合成樹脂エマルションペイント〕

試験項目	試験成績	試験規格
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
低温安定性(-5℃)	合格	変質しないものとする。
塗装作業性	合格	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。
乾燥時間	標準状態	合格
	(5℃)	合格
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率% (白及び淡彩)	99	95以上
鏡面光沢度	85	70以上
耐水性	合格	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする。
耐洗浄性	合格	1000回の洗浄に耐えるものとする。
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。
促進耐候性	合格	480時間の試験で光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。
屋外暴露耐候性	合格	12ヶ月の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。

	アレス アクアグロス	溶剤形 アクリル	水性 アクリル	塩ビ系	NAD系	備考	
光沢(60°グロス)	85	83	80	80	78	鏡面光沢計	
隠ぺい率	99	97	98	96	97	白塗料	
乾燥性	指触(分)	20	15	30	10	50	23℃
	半硬化(分)	30	20	40	15	80	23℃
	硬化(分)	40	25	60	20	100	23℃
タック性	20℃	○	○	△	○	○	触指
	40℃	△	△	×	△	○	
初期耐水性	○	○	△	○	△	乾燥1時間後没水	
没水耐水性	○	○	△	○	○	3日間没水	
耐アルカリ性	○	○	○	○	○	Ca(OH) <sub>2</sub> 飽和水溶液	
耐酸性	○	△	△	○	○	0.5% H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> 水溶液	
促進テストによる光沢保持率	85%	85%	65%	70%	70%	サンシャイン×1000Hrs	

# 標準塗装仕様

外壁改修、完全水系仕上げの場合

素材：コンクリート、モルタル、スレートなど  
部位：外部壁面など

施工場所	工程	塗料・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)	
現	1	素地調整	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ・ワイヤーブラシ)で除去し、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。					
	2	下塗り	アレシホルダーZ 上水	0.3~1.5 0.7~1.2	—	8時間以上 7日以内	ローラー エアレス	1~10 7~15
地	3	上塗り (1回目)	アレシアクアグロス 上水	0.15 0.18	—	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス	3~10 10~20
	4	上塗り (2回目)	アレシアクアグロス 上水	0.15 0.18	—	—	ローラー エアレス	3~10 10~20

※塗替えて下地が脆弱な場合、吸込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装して下さい。

# F★★★★仕様

内壁、新築仕上げの場合

素材：モルタルなど  
部位：内部壁面など

施工場所	工程	塗料・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)	
現	1	素地調整	ゴミ・汚れなどを除去し、乾燥した清浄な面とする。欠損部はあらかじめ、適切な処理を施す。					
	2	下塗り	EPシーラー白 上水	0.09 ~0.12	—	2時間以上 7日以内	ハケ ローラー	50~100
地	3	パテかい ~ 研磨	釘頭、たたき跡、傷等をエマルジョンパテなどを用いて埋め、乾燥後P180~240サンドペーパーで空研ぎする。					
	4	上塗り (1回目)	アレシアクアグロス 上水	0.15	—	2時間以上 7日以内	ハケ ローラー	3~10 3~10
	5	上塗り (2回目)	アレシアクアグロス 上水	0.15	—	—	ハケ ローラー	3~10 3~10

## 施工上の注意事項

- 素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2)、または5%以下(ケット科学社製H-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- 気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
- 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等で弱い塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- 押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー(マルチタイルコンクリートプライマー EPO、浸透形Mシーラー)をご使用ください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窓サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマー EPO」を塗装してください。
- ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- シーリング材の上は塗膜のフレイや汚れが生じることがありますので塗装は避けてください。やむなく塗装する場合は、事前に試験塗装を行い付着性、粘着性が問題ないことを確認の上、施工を進めてください。その際の下塗りに「シーブラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー EPO」を使用することをお勧めします。
- 塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 濃彩色の塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類寝具類などと接触する可能性のある部位には使用しないでください。

■品名・容量 **アレシアクアグロス (ツヤ有) 各色 15kg、4kg**  
**アレシアクアグロス5F (5分ツヤ) // //**  
**// 3F (3分ツヤ) // //**

## ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。
- 詳細な内容については安全データシート (SDS) をご参照ください。
- **予防策**
- 取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミス・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- **対応**
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- **保管**
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- **廃棄**
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- **施工後の安全**
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
 東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
 北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935  
 中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
 大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
 四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
 九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(21年01月66刷PPO)カタログNo.273